

2017年度

# 沖縄スタディツアーご案内

— 8月24日(木)～8月27日(日) —



青い海と亜熱帯植物の自然豊かな沖縄。

しかし、そこにはそんな素敵な観光資源を台無しにしてしまう巨大な軍事基地が...

昨年政府は、沖縄の民意を無視して強引に本島北部・東村高江にオスプレイパッドを建設。今また、辺野古に米軍新基地建設を強行しています。

太平洋戦争で国内唯一の地上戦を経験した沖縄。

沖縄の現状を一緒に考えて、次の一步を踏み出してみませんか？

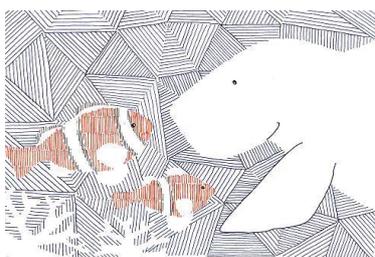
●**主なプログラム**：米軍基地・戦跡めぐり、沖縄の歴史・文化についての学びなど。

●**参加費**：90,000円

\* 航空券、沖縄県内移動費、宿泊費、旅行保険料、プログラム費を含みます。

●**お申し込み方法および最終締切日**：7月10(月)

電話かファックス、E-メール、又は学生青年センター窓口にてお申し込みください。



●**最小催行人数**：5名

●**お支払い方法**：7月14日(金)までに予約金5万円を、8月5日(土)までに残金をお支払いください。

\* 分割払いのご相談に応じます。

●**キャンセル料**：1ヶ月前までは無料、3週間前までは3万円、10日前までは5万円、それ以降は全額を申し受けます。

★**ガイダンスと事前学習会**：8月5日(土) 14:00～16:00 場 所：名古屋学生青年センター



<沖縄の現状> 昨年12月13日に懸念されていたことが現実となりました。名護市東海岸でのオスプレイの墜落事故です。2004年夏の沖縄国際大学米軍ヘリ墜落事件と同様に、すぐに米軍により規制線が張られ、自治体の首長も警察も立ち入ることが禁止されました。米軍が事故を起こすとその場所が突如、日本の法律の適用外になってしまう異常事態です。米軍は、米国内では到底許されない、住宅地近くの訓練を人が住む島沖縄で平然と繰り返しています。これに対して、日本政府も米軍に対して真剣に抗議をするどころか、支持さえしているように見えます。

今年3月末に、辺野古での岩礁破碎許可が期限切れとなりました。政府や防衛局は法律を自分に都合よく解釈し、許可の再申請なしに、基地建設のための埋め立て工事を進めようとしています。これに対して、県知事は埋め立て承認撤回を示唆しています。政府は知事個人への損害賠償請求という脅しを掛けています。同様な訴訟が、オスプレイパッドが建設された東村高江でも実際に起こりました。共謀罪の制定が強行されようとしている中、国による言論の封じ込めが益々強くなっていることが、沖縄の現状から見えてきます。これは遠い沖縄の出来事ではなく、私たちのことなのです。



## 日 程 ( 案 )

1日目 8/24(木)	8:00 中部国際空港集合 9:00 中部国際空港発 → 11:15 那覇空港着 那覇空港 → 中部戦跡・基地めぐり (嘉数高台/普天間飛行場 → 佐喜眞美術館 → 嘉手納基地) → 名護 宿舎：ホテルルートイン名護
2日目 8/25(金)	9:00 名護 → 辺野古 → 名護 宿舎：ホテルルートイン名護
3日目 8/26(土)	9:00 名護 → (高江) → 辺野古 → 那覇 宿舎：ホテルサンパレス球陽館
4日目 8/27(日)	自由行動 → 県立平和祈念資料館 → 平和の礎 那覇空港 19:00 那覇空港発 → 21:10 中部国際空港着/解散

\*上記日程は予定ですので、現地の状況により変更する場合があります。



●主催・問い合わせ先：名古屋学生青年センター

名古屋市昭和区宮東町260 〒466-0804

TEL 052-781-0165 FAX 052-781-4334

E-mail: nyc.chubu@nsskk.org

：日本聖公会中部教区社会宣教部沖縄プロジェクト

●協力：沖縄・ぎのわんセミナーハウス

●取扱旅行代理店：名鉄観光サービス(株)名古屋伏見支店

名古屋市中区栄2丁目9-26 (ポーラ名古屋ビル内)

●取扱保険代理店：エムエスティ保険サービス(株)名古屋市中区上前津2丁目6-8